

市議団ニュース

木村奉憲 22-8567、杉野 修 58-9010
石田利春 52-7260、渡辺昌代 21-9058

議員団、大震災対策などで市に
対し追加の申し入れを行う

東日本大震災対策と救援に対する

申し入れ書
(第2回分)

日本共産党久喜市議団は6月30日、市長に東日本大震災の対策と救援で、これまでの現状を踏まえ求められる施策について申し入れを行いました。

①南栗橋液状化被害対策について

地盤修復は「一部損壊」の被害認定であつても、「大規模半壊」と同様の費用がかかる。被災地域全体の修復を市がまとめて実施することや、支援基金枠は最大限の規模を実施すべきなど6項目。

②放射能汚染に関して

久喜市独自の基準を設けること。測定は小中学校の土壌調査をすること。市民プールや焼却灰・汚泥なども測定することなど3項目。

③駅関連施設の節電対策について

久喜駅、栗橋のエスカレーターが停止中だが、利用者の声を聞いて稼働に向け検討すること。(市の管理の施設のため)など合計で11項目。



6月議会では、次の議員提出の意見書をめぐり、真剣な審議が行われました

- ① 「外国資本による土地売買等に関する法整備を求める意見書」(共産党以外の各会派から提出)
 - ② TPP交渉参加に慎重な対応を求める意見書
(会派「飛翔」から提出)
 - ③ 原子力発電から省エネや再生可能エネルギー政策への転換を求める意見書(「政策会議」から提出)
 - ④ 住宅リフォーム助成制度の創設を求める意見書
 - ⑤ 原子力行政、エネルギー政策の抜本的な転換を求める意見書(④、⑤は日本共産党議員団から提出)
- ① に関しては、審議の中で日本共産党が国会で適切な規制をするよう求めていたこと。1998年の国土利用計画法の改正で許可制が届出制に改悪され、これには日本共産党だけが反対したことを明らかにし、法を元の許可制に戻すことへの考えを正したところ、改悪した法を元に戻す必要がある旨の態度を明らかにしたこともあり、議員団は賛成をしました。
- ② は日本農業を守る立場や、TPPそのものに対する評価などが極めてあいまいで、通告した質疑を誠実に調査した形跡も見られなかったことなどで反対。
- ③ は原子力行政の抜本的転換ではないが、政策転換を主張しており、賛成しました。④、⑤は党議員団提出のもの。

6月6日から始まった6月定例議会は6月28日に閉会しました。今議会は15議案に「東日本大震災被災者救援基金条例」など3議案が追加されました。

南栗橋
液状化6月議会で明らかになった
久喜市独自の震災支援策

南栗橋液状化による被害は164件、被害認定は、全壊0件、大規模半壊44件・半壊48件・一部損壊63件・判定なし9件。家屋傾斜に伴い転居中の方は19世帯。

国の支援制度が適用されずにいる中、再建に向け議会も「久喜市独自支援が求められる」と全会派が一致。今議会で、市は独自の支援を実施する。支援策は国の支援制度を基本に考えており、液状化被害の特徴は一部損壊であつても地盤など再建費用は同様の金額がかかることから、その点も考慮し決定したい。財政的手当では「久喜市東日本大震災被災者支援基金条例」を設け、久喜市民からの義援金や「ポートピア栗橋」からの環境整備基金などを繰り入れ、被災者の支援に対応する。時期としては9月議会を目途に考えているとしています。

(判定なし→1.2cm程度の傾斜を指す)

久喜市独自支援に基金の創設へ

障害者福祉事業まで民間に！

久喜市障がい者施設条例

利用料の負担増などから反対

6月議会議案の中で「久喜市障がい者施設条例」が審議されました。これまで久喜市では知的障がい者厚生施設「いちょうの木」障がい者デイケア施設「けやきの木・くりの木・趣味の家・ゆうあい」がすべて障がい者自立支援法に基づく障がい福祉サービスを提供する施設となります。「趣味の家」は現在移転に向け新築のため、測量中で、平成24年度からは「あゆみの郷」となります。委員会質疑の中で、これまで無料だった利用料が、若干名の方が月9千円の負担増となることや、長年勤務していた臨時職員の雇用が継続される保証がないこともあきらかになりました。指定管理者を公募で決めようとするところは、すべて職員が入れ替わる可能性もあります。障がい者にとって環境が変わること、特に職員との関係は大変なことであり、重大な問題です。引き継ぎ期間の短さや、自立支援法の問題点も指摘して日本共産党はこの議案に反対しました。

建て替え予定の「趣味の家」



6月27日、新市に対して社会保障推進協議会による自治体要請行動キャラバンが行われました。年金者組合、医療生協、土建組合、日本共産党など多くの団体から30人以上が参加し、市と懇談しました。当日は、事前に出されていた質問の回答を基に、現場からの具体的な要望・意見が多数出されました。

特に、「高すぎる国保料金は払えるよう引き下げて欲しい。」「資格証明書の発行で病気はむしろ悪化する。」「予防を重視することが重要だ」「夫の訪問リハビリ対応が十分できない」体制を何とかしてほしい。」など切実な声が出されました。

合併後、ごみの分別収集方法が統一されます。今回プラスチックの分別が新たに始まる栗橋・鷲宮では住民説明会が開催されて来しました。主な質問・答えでは、
「CDはプラスチックだがなぜ分別しないのか」(答・リサイクルプラのマークが入っているものだけです)「透明袋に入らないポリバケツはどうするのか」(答・粗大ゴミで)「ゴルフセットは一式で一つの粗大ゴミか、クラブ一本でも粗大ゴミか」(答・14本セットで一つ、で)「風呂用いす、おもちゃ、ブラシ、ポリタンクなどプラスチックなのに

なぜ燃やせないゴミ」にするのか」(答・法でも対象にしてない)ので)など。

また、実施時期については「10月実地は、練習期間として足りない。分別を間違えてもゴミ置き場に置いて行かないでほしい」(答・黄色の紙で理由を書き、数日間置いていきます。その後、衛生組合に電話をもらえば、回収に伺います)というやりとりも。
とにかく、分別は必要でも、やるとなると時間をかけ、経験を重ねながら「合意」と「納得」が欠かせません。

社会保障推進協議会の自治体キャラバン開催される

栗橋・鷲宮で住民説明会行われる。
「プラスチック分別」10月実施に不安の声

新市の公共施設予約は

9月から始まります

久喜市の公共施設の予約サービス開始に向けて、電算統一の準備が進められてきました。8月上旬に新規登録番号で整備されます。予約は文化施設関係は9月1日から、体育施設関係は9月5日から入力で12月1日からの予約ができます。また、50施設対象ですが、26施設については、窓口でのタッチパネルが可能となります。

(旧登録番号は11月30日まで有効)